

長崎県農業協同組合中央会 (J A 長崎県中央会)



勤務地の長崎県 J A 会館 (長崎市出島町)

事業内容

J A にとって本当に頼れる存在でありたい



全国に誇れる長崎の農産物

私たちは、長崎県内 J A (農協) の運営や事業に関し、様々な面から支援を行う団体です
農協法に基づき設立された法人であり、経営相談、人材の育成、農政・広報対策、情報システムの
運営管理など業務は多岐に渡ります

食と農を守り、 J A グループを支えるべく職員一人一人が自覚を持ち、現場 (J A) の要望に応え
仕事に取り組んでいます

また、本県には 2012 年の全国和牛能力共進会で日本一になった「長崎和牛」や 2016 年の農林水産祭
で天皇杯に輝いた温州ミカン、高品質の園芸作物などが数多くあります

ブランド化や全国トップクラスの産地づくりをめざしグループ一丸で取り組みを進めています

長崎県中央会はその取りまとめ役として外国人材の派遣事業など様々な対策を進めています

私たちの理念

一人は万民のために 万民は一人のために

J Aは相互扶助を理念とする協同組合であり、生命産業である農業を基盤とする組織です
人と人との絆に価値を置き、地域の方々が平和で豊かに暮らせることを願い、地域農業の生産振興と
販売・流通対策をはじめ金融・共済・農業資材や生活必需品の販売などの総合事業を行っています

私たちは決して自由主義経済を否定するわけではありませんが、行きすぎた規制緩和や競争至上主義
は社会の格差を広げ様々な問題が生じる要因となっています

こんな時代だからこそ「一人は万民のために 万民は一人のために」という協同組合の理念を再確認
し、組合員や地域の方々のために事業を進めていきたいと考えています

私たちの仕事

歴史と伝統を受け継いで

設立は1954年。各地域のJ Aごとの個別課題、さらに県内全体で取り組む特別対策など
長崎県J Aグループの総合調整役として様々な仕事に取り組んでいます

- 経営相談（経営管理・法務・会計・税務・労務等）
- 農業政策に関する企画の立案、農業に携わる方々への支援
- 農業やJ Aに対する県民理解を深めるための広報対策
- 人材育成対策、役職員研修の実施
- 情報システムの運営管理など



～先輩のひとこと～

「中央会の仕事は色とりどり。広報担当になったら取材して記事を書いたり、新聞記者のような仕事を
するんですよ。想像もしてませんでした。びっくりです」

（去年まで「日本農業新聞」担当だったUさん 27歳 女性）



はたらく環境

新人に「即戦力」は求めません



まっすぐな人が好き

(((((((

私たちは様々な面からJAを支える仕事をしています

仕事の内容は高度かつ専門性が求められますが、何よりも大事なのはJA＝現場＝の声に耳を傾け一緒にあって歩を進める誠実な人柄

私たちは新人に「即戦力」は求めていません

まずは「農業を元気にしたい」「仕事を通じて成長したい」などなど
まっすぐな思いがあれば大丈夫！

5年後、10年後の中央会を担う「人財」として
大切に育てていきます

- ・事務所の長崎県JA会館は長崎港を一望できる
抜群の眺め 一般の方にも評判の職員食堂もあります
- ・クラブ活動として若手職員でつくる軟式の野球部があります

(野球未経験者ばかりです)

和気あいあいの雰囲気、年1回、九州各県の中央会と
親ぼく試合を行っています
勝っても負けても、夜の懇親会は盛り上がります！



職員食堂でランチタイム

おいしい長崎県産米

会社概要

事業所 長崎県長崎市出島町1番20号 長崎県JA会館

設立 1954年11月

職員数 33名 嘱託・臨時、グループからの受入出向を除く正職員数

(中央会是非営利法人のため売上高等は記載していません)